

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
専門学校 盛岡カレッジオブビジネス		平成8年4月1日	工藤 昌雄		〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目1番18号 (電話) 019-651-5001		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人龍澤学館		昭和38年3月14日	龍澤 正美		〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目4番1号 (電話) 019-622-6357		
目的	現在の日本のホテル業界で求められている、より広く高度なニーズへの変化に対応すべく、ホテルサービスに必要とされる技術と知識の習得と共に、お客様に対するホスピタリティマインドを身に付け、企業の発展に貢献できる力を養う。さらには、より実践的な職業教育水準の維持向上を図り、業界や社会全体をリードできる人材育成を目指す。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
ビジネス	商業実務専門課程		ホテルビジネス科		—	—	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
	2年 昼間						
単位時間							
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数	
60人		21人	2人		13人	15人	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 テスト結果・授業態度・出席状況等の総合判断		
長期休み	■学年始め: 4月1日 ■夏季: 7月20日～8月21日 ■冬季: 12月21日～1月11日 ■学年末: 3月31日			卒業・進級条件	成績評価が全て「可」以上、年間出席率90%以上		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡及び家庭訪問の実施			課外活動	■課外活動の種類 地域ボランティア、イベントの参加 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 県内・県外ホテル、レストラン等 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 成 27年度卒業者に関する平成28年3月10日時点の情報)			主な資格・検定等	レストランサービス技能士 フォーマルウェア検定 パーソナルカラー検定、色彩検定 和食検定		
中途退学の現状	■中途退学者 2名		■中途退学率 9.5%		平成27年4月1日 在学者 23名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 21名 (平成27年3月31日 卒業者をを含む)		
	■中途退学の主な理由 進路変更、家庭の事情により						
	■中退防止のための取組 電話連絡および面談実施						
ホームページ	URL: http://www.moricolle.ac.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成を行うに当たり企業等と連携する上で、本校の教育理念を理解いただき、時代を担う人材の育成を企業等と学校が一緒に行っていくことに賛同いただける企業と連携することを基本方針とする。特にブライダル業界の現状や今後の動向を踏まえた上で、最新のブライダル知識、コスチュームスタイリング等について情報提供いただき、その内容を十分に活かしながら、学生の実態に合わせ効果的な教育課程の編成を検討していく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年3月10日現在

名前	所属
工藤 昌雄	専門学校盛岡カレッジオブビジネス
高田 昭子	専門学校盛岡カレッジオブビジネス
古澤 晴之	岩手県葛巻町 総務企画課
小原 伸一	盛岡ターミナルビル株式会社
石崎 蓮	専門学校盛岡カレッジオブビジネス

(開催日時)

第1回 平成27年7月30日 17:00～18:00

第2回 平成28年2月 3日 17:00～18:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

「ハッピーマリッジプロジェクト」や「トゥルーマリッジプロジェクト」については、ブライダル現場を実践的に学ぶことで、それに関わる知識や技術の習得と仕事への責任感を得ることを基本方針とする。

「インターンシップ」については、ホテルサービスに関する実習を通してホテルスタッフとして社会人として必要な能力を多角的に習得することを基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
ブライダルプロジェクトⅠ	サービス技術やホテルの知識を活かし集大成として、模擬結婚式の企画・運営・実施を行う。	(株)岩手ホテルアンドリゾート、 (株)イワテブライダルセンター
ブライダルプロジェクトⅡ	実際に結婚式を希望している新郎新婦のプロデュースを行い企画・運営まで全てに携わる。	(株)マリーズラニ
インターンシップ実習	自己成長を目的として、日頃の学習成果と新たな学びを実際に現場で体験し身につける。	(株)星野リゾート、(株)星野リゾート・ハヶ岳、(株)八重山ホテルマネジメント(星野リゾートリゾナーレ小浜島)、(株)ミリアルリゾートホテルズ、奥白馬高原開発(株)(ホテルグリーンプラザ白馬)

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

本校・本学科の教員として必要な知識、技術、技能や授業および学生への指導力について計画的に教育し、向上させることを目的に、校内・校外において実施される研修等への参加機会を積極的に設けることを「専門学校盛岡カレッジオブビジネス 研修等規定」により定め、組織的に取り組んでいく。

ここでいう研修等には、施設等から講師を招いて学内で行う研修や学外で企業等が主催して行われる研修等への参加だけではなく、自己啓発活動への援助も含む。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年3月10日現在

名前	所属
高橋 義則	株式会社北日本銀行
石塚 和宏	株式会社岩手ホテル&リゾート
関 めぐみ	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生
廣田 聖亜	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生
佐々木 友恵	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生
阿部 瞬	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生
藤原 愛美	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生
石崎 蓮	専門学校盛岡カレッジオブビジネス

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.moricolle.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.moricolle.ac.jp/>

URL:<http://www.mcinet.jp/>

授業科目等の概要

(職業実践専門課程ホテルビジネス科) 平成27年度													1/2		
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ホテルビジネス概論Ⅰ	ホテル業務及びホスピタリティに関わる基礎知識の習得	1通	100		○	△	○			○		
○			ホテルビジネス概論Ⅱ	HRS検定への取り組みとホテル業務の応用を習得	2通	100		○	△	○			○		
○			ホテルマーケティング論Ⅰ	ホテル業界、観光産業、ホテルプランニングを学ぶ	1通	50		△		○	○		○		
○			ホテルマーケティング論Ⅱ	ホテル業界と接客サービス対応の研究	2通	150		△		○	○		○		
○			ホテルサービス実務Ⅰ	料飲サービス、宿泊サービスの基本的技術の習得	1通	100		○		△	○		○		
○			ホテルサービス実務Ⅱ	料飲サービス、宿泊サービスの応用的技術の習得	2通	200		○		△	○		○		
○			インターンシップ実習	ホテルでのインターンシップを通し、実践力を身に付ける	1後	270				○			○		
○			英会話	ホテル業務で必要とされる語学の習得	1後	40		○	△				○		
○			ブライダルプロジェクトⅠ	本物結婚式への取り組み	2前	40							○	○	○
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

